

欧州特許庁、モルドバと欧州特許の認証へ向けて交渉開始

2011年2月3日

JETRO デュッセルドルフ事務所

欧州特許庁（EPO）が2月1日に公表した官報によれば、欧州特許機構（EPOr）の管理理事会は、2011年12月14～15日に開催された第130回会合において、モルドバとの認証および協力合意へ向けて長官が交渉開始することを承認した。

モルドバは、1991年の独立前は旧ソビエト社会主義共和国連邦に属しており、1995年からはロシアなどの旧ソビエト諸国と共にユーラシア特許条約に加盟している。しかしながら、世界的知的所有権機関（WIPO）のPCTニュースレターによれば、モルドバは2011年10月26日にユーラシア特許条約からの脱退を宣言しており、2012年4月26日には脱退がなされる見通しである。

その一方で、モルドバは、EUの支援によって2010年11月から2012年4月にかけて実施されている、知的財産権の実施とエンフォースのための「TWINNING」プロジェクト等を通じて、欧州型の知財制度を積極的に取り入れるなど、欧州との距離を縮めており、今後のEPOとの交渉が進展するものと予想される。

EPOは、これまでも、モロッコおよびチュニジアに対して欧州特許の認証へ向けた交渉を開始するなど、欧州近隣諸国に対して積極的な協力を進めている。

－ EPOの官報は、以下参照 －

[Report on the 130th meeting of the Administrative Council of the European Patent Organisation \(14 and 15 December 2011\) \(PDF\)](#)

－ WIPOのPCTニュースレターは、以下参照 －

[Denunciation of the Eurasian Patent Convention by the Republic of Moldova](#)

－ 「TWINNING」プロジェクトの概要は、以下参照 －

[TWINNING Project "Support to Implementation and Enforcement of Intellectual Property Rights in the Republic of Moldova" \(PDF\)](#)

－ モロッコにおける欧州特許の認証に関する欧州知的財産ニュースは、以下参照 －

[欧州特許庁、モロッコと欧州特許の認証について合意（2010年12月23日）\(PDF\)](#)

－ チュニジアにおける欧州特許の認証に関する欧州知的財産ニュースは、以下参照 －

[欧州特許庁、チュニジアと欧州特許の認証へ向けた関係強化に合意\(2011年5月13日\)\(PDF\)](#)

(以上)